

南地域まちづくり

第83号
令和2年5月1日発行
かわら版

4月18日に予定していましたが、令和2年度定期総会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となり、提出しました議案についてはすべて書面議決により承認を得ました。

令和2年度スローガン ～子どもにやさしい地域づくり～

令和2年度新役員を紹介します。

- 会長 大森明輝(豊田)
- 副会長 伊与田泰司(大屋敷)
- 会計 加藤憲司(秋田)
- 理事 (秋田) 真鍋秀紀 佐竹一昇 鈴木しづ江
(豊田) 江口勇雄 社本元治 松岡兵一 社本盛治
(大屋敷) 岩佐栄興 遠藤匡彦 丹羽一裕 野下紀美子
- 監事 藤井 勇(秋田) 社本一裕(豊田) 野田賢治(大屋敷)



令和2年度事業計画

- ・ 理事会の開催(月1回)
- ・ 事業部会の開催(随時)
- ・ 座談会の開催(随時)
- ・ 研修会の開催(随時)
- ・ 青色防犯パトロール、見守り活動(毎週実施)
- ・ まちづくりかわら版の発行(月1回)
- ・ 地域交流イベント(10月)
- ・ 作品(標語等)募集(8月)
- ・ 認知症勉強会(年1回)
- ・ 徘徊高齢者搜索模擬訓練(年1回)

令和2年度事業計画

【収入見込額】		1,875,000円
* 主な収入	町からの委託料	1,616,000円
	前年度繰越額	233,017円
【支出見込額】		1,875,000円
* 主な支出	役員等活動費	399,000円
	事務用品、啓発物品	510,000円
	材料費、燃料費等	200,000円
	防犯マップ作製、看板等	300,000円

南地域のたからもの vol.31

～大口神社、その建造物はどこに？～

大口中学校のグラウンドの南東にあたる場所、植松住宅の道路向かいに石碑があります。ご記憶の方も多いかと思いますが、ここは大口神社の境内でした。大口神社は、昭和27年(1952)8月に建立され、明治時代以降の戦没者を御霊として祀っていました。そして、今から約10年前、大口町にあった2つの中学校が統合し、大口中学校が現在のようなかたちになった際、御霊は「平和の礎」(大口中学校の東端)へとうつされました。



大口神社石碑

では大口神社にあった建造物はどこへ？
実は主な建造物にあたる拝殿、社殿の門扉、鳥居などは、犬山市羽黒稲葉の恩田社へと移築されました。恩田社はちょうど犬山市体育館(エナジーサポートアリーナ)の北、名鉄小牧線沿いに鎮座しています。その他、狛犬や数対もあった灯籠などは、主に南地域の神社に移されました。風景は変わってしまいましたが、その場所に鎮座していたことを物語る大口神社の石碑。そして恩田社に残る当時の建造物。犬山方面へ行くことがありましたら、恩田社を訪れてみてはいかがでしょうか。

『あいさつは 町みんなの 笑顔だよ』

(令和元年度南小学校5年生児童優秀作品)

『あいさつを される側から する側へ』

(令和元年度南小学校6年生児童優秀作品)

新学期が始まりましたが、町内の小中学校は新型コロナウイルスかんせんぼうしのため、4月も休校となってしまいました。

「おはよう！」「おはようございます」「行ってきます」「行ってらっしゃい！」「ただいま！」「お帰りなさい」どこの家でもこんな会話がありますね。笑顔で明るくあいさつはみんなの心をやさしくします。

朝のつうがく班でも、学校でも、友だちや先生に元気よくあいさつをしましょう。きっと楽しい1日が始まります。

